

令和 2 年度

荒尾市教育振興基本計画

平成 31 年（令和元年）度数値目標報告書

令和 3 年 3 月

荒尾市教育委員会

荒尾市教育振興基本計画に基づく令和元年度の取組状況

1. 家庭や地域の絆の中で、「生きる力」の基礎をはぐくむ

【数値目標の達成状況】

指標名	R3目標		H28	H29	H30	R1	達成状況
朝食を毎日食べる児童生徒の割合	95	実績値 (%)	83	84	92	94	
		達成状況 (%)	-	88	97	99	

【成果】

・学校給食センターや各学校での食育に関する取組により、朝食の大切さを学ぶ機会が増えており、また「荒尾っ子のできるといいね」「くまもと親の学び」プログラムにより規則正しい生活習慣の大切さが保護者や児童生徒にも周知され、朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、年々増加している。

【主な取組】

- ①「早寝早起き朝ごはん」運動の推進
学校や幼保小中連携において「早寝・早起き・朝ごはん」の取組(アンケート調査やカレンダー配布など)を行った。
- ②家庭教育の支援
・子どもたちの規則正しい生活の習慣づけなどを支援するため、家庭教育支援リーフレット「荒尾っ子のできるといいね」を作成し、新生活がスタートする4月に各家庭に配布している。
・県作成の「くまもと親の学び」プログラムを活用し、保護者同士のつながりづくりや子育ての楽しさに気づいてもらうなど、家庭教育の実践における支援を行った。



家庭教育支援リーフレット「荒尾っ子のできるといいね」

「親の学びプログラム」の様子(三中)

【主な課題と改善方針】

- ①「早寝早起き朝ごはん」運動の推進
【課題】
栄養バランスのとれた食事をとることに対する意識の向上
【改善方針】
朝食の大切さとともに栄養バランスについてもしっかり学べる取組の実施
- ②家庭教育の支援
【課題】
家庭環境など様々な事情による子どもたちの規則正しい生活習慣や食生活の乱れ
【改善方針】
「くまもと親の学びプログラム」などを活用し、保護者に向けた規則正しい生活習慣の重要性の周知

2. 自ら学び、自ら考え、自ら行動する力をはぐくむ

【数値目標の達成状況】

指標名		R3目標	H27	H29	H30	R1
全国学力・学習状況調査正答率	小学校	全国平均を上回る	上回る	上回る	下回る	上回る
	中学校		下回る	下回る	下回る	下回る

指標名		R3目標	H28	H29	H30	R1	達成状況
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小学校 (%)	全国平均を上回る	73.3	76.2	80.3	79.4	
			全国値	全国値	全国値	全国値	
	中学校 (%)		59.3	66.1	76.1	71.2	
			全国値	全国値	全国値	全国値	

指標名		R3目標		H28	H29	H30	R1	達成状況
学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合	小学校 (%)	95	実績値	83	86	—	85.5	
			達成状況	—	91	—	90	
	中学校 (%)		実績値	81.4	75.2	—	81.1	
			達成状況	—	84	—	90	

指標名		R3目標	H28	H29	H30	R1	達成状況
体力テストについて	小学校	全項目で県平均を上回る	86/96	66/96	64/96	73/96	
	中学校		40/48	24/48	23/48	27/48	

指標名	R3目標		H27	H29	H30	R1	達成状況
英検3級相当学力のある生徒の割合	30	実績値 (%)	13	24.5	30.1	18.9	
		達成状況 (%)	—	82	100	63	

指標名	R3目標		H28	H29	H30	R1	達成状況
コミュニティ・スクール導入校数	7	実績値 (校)	1	2	2	3	
		達成状況 (%)	—	29	29	43	

【成果】

- ① 荒尾市内全校で「あらおベーシック」の理念を教職員の共通理解とする取り組みを実施したことで、主体的な対話を通して協働的な授業となり、令和元年度の県学習状況調査の結果において、表現力である活用力の向上が見られた。
- ② 英語検定を身近な存在にしたことで、受験の意欲形成に繋げることができた。
- ③ 「荒尾市教育ICT整備計画」に基づき、計画的に電子黒板等のICT機器等を整備したことで、ICTを活用するために必要な環境を推進することができた。
- ④ エアコンを設置し学習環境の向上を図ることで、熱中症の防止及び集中力の向上に繋げることができた。

2. 自ら学び、自ら考え、自ら行動する力をはぐくむ

【主な取組】

- ① 「授業改善アドバイザー事業」は、西留安雄氏に講師を依頼し、各学校2回ずつ授業を参観してもらい指導をうけることで、多くの教員が助言を受け、教職員の指導力の向上を図った。
- ② 「英語検定チャレンジ事業」は、市内の中学校に通う生徒に対して英検の希望級の受験料を荒尾子ども未来基金及び県からの補助金を活用して本市が負担して、3年生を第2回の10月4日、1・2年生は第3回の1月24日に実施した。
- ③ 「荒尾市教育ICT整備計画」に基づき、市内小中学校の教室に無線LANアクセスポイント及び電子黒板を設置した。また新たに制度化された「GIGAスクール構想」に基づき、令和2年度に校内LAN環境及び充電保管庫設置工事のための調査を実施した。
- ④ 教育環境整備として市内全小学校の普通教室125室及び特別教室54室に空調設備を設置した。
- ⑤ 地域とともにある学校づくりの推進を図るため、国版コミュニティ・スクール全校設置へ向け情報収集と併せて、導入推進方法を検討した。

【主な課題と改善方針】

- ① 学力向上のための「あらおベーシック」の総括と定着化を図るため、管理職の理解を深めるための研修と校内リーダー育成のための研修の充実を図る。誰もが取り組めるようにするためのマニュアルを作成する。
- ② 小学校英語の教科指導の充実による英語力の向上(英語の日常化)と小中連携を図るために、教員の指導力向上のための研修の充実と小中連携を図るために市の英語教育研究会を軸に取り組む。
- ③ 機器整備後のICT機器を活用した学習活動の充実を図るため、操作の習得やICTを活用した授業支援や研修など学校をバックアップする環境を整える。
- ④ 子どもたちが安心・安全な学校生活を送れるよう設置した空調設備には、保守点検及びフィルター清掃を委託する。また、施設の老朽化対策として、長寿命化計画に基づき施設改修を進めていく。
- ⑤ コミュニティ・スクール(CS)設置への学校の温度差が見られ、必要性を説明し意識を高める必要があり、CSディレクターを配置し、設置の手順や運用方法を指導し、R3年度までに国版のCS設置を目指す。

3. 生涯にわたって健やかに学び続ける人をはぐくみ、地域社会における教育力の向上をはかる

【数値目標の達成状況】

指標名	R3目標		H27	H28	H29	H30	R1	達成状況
学校支援ボランティアの数	20,600	実績値 (人)	20,194	17,882	20,580	25,667	29,571	
		達成状況 (%)	-	87	100	125	144	

指標名	R3目標		H27	H28	H29	H30	R1	達成状況
図書館の来館者数	50,830	実績値 (人)	49,139	37,568	42,630	45,311	41,276	
		達成状況 (%)	-	74	84	89	81	

指標名	R3目標		H27	H28	H29	H30	R1	達成状況
教養・スポーツの場に関する満足度	37.0	実績値 (%)	31.5	28.0	32.0	33.5	31.5	
		達成状況 (%)	-	76	86	91	85	

指標名		R3目標		H27	H28	H29	H30	R1	達成状況
運動習慣のある者の割合	男性	43	実績値 (%)	41.7	48.2	52.1	54.6	54.7	
			達成状況 (%)	-	112	121	127	127	
	女性	42	実績値 (%)	39.5	42.0	38.5	41.5	47.2	
			達成状況 (%)	-	100	92	99	112	

【成果】

- ①学校支援ボランティアの数
 - ・地域と学校が連携・協働した地域学校協働活動はH28以降年々拡充傾向にあり学習支援ボランティアの活動も増加した。
 - ・地域からの学校支援だけでなく、学校から地域への貢献活動も拡大している。(中学生の高齢者宅訪問、公民館講座中学生のボランティアスタッフ等)
- ②図書館の来館者数(新型コロナウイルス対策のため、3/2～3/31は休館)
 - ・荒尾干潟水鳥・湿地センターとの連携(干潟を守る活動や漁業に関するパネルの展示、貝の標本や実物のクラゲの展示、センター長による講座)を行い、干潟に関する学習機会の提供を行った。
 - ・放課後子ども教室との連携(児童への大型絵本の読み聞かせや絵本に纏わるお菓子づくり体験など)を実施し、図書館利用の促進や読書活動の推進を図った。
 - ・イベントや各種取組の情報をHPや愛情ねっと、FMたんなどを通じて発信し、利用者の満足度の向上を図った。
- ③教養・スポーツ場に関する満足度
 - ・地域学校協働活動と公民館サークルとの連携(中学校席書大会へのサークル員の派遣)により、サークル員の学習成果の実践が図られた。
 - ・他事業との連携(市童話発表大会での公民館サークルのゲスト演奏)により、サークル員の生きがいづくりの実現が図られた。
 - ・イベントや各種取組の情報をHPや愛情ねっと、FMたんなどを通じて発信し、利用者の満足度の向上を図った。
 - ・令和2年度に開催される熊本県民体育祭玉名荒尾大会に向け、競技会場となる施設の整備を実施し、施設機能や環境向上を図った。
 - ・運動公園施設長寿命化計画に基づき、公衆衛生の向上を目的に、陸上競技場とゲートボール場にある汲み取り式トイレを撤去し、新たに水洗式トイレを設置した。
- ④運動習慣のある者の割合
 - ・スポーツ推進委員協議会と連携し、令和元年度はボッチャの普及を重点的に取り組んだ。
 - ・指導者資格が得られるラジオ体操講習会を開催し、多くの市民の運動習慣として体操が生活の中に取り入れられるよう、より一層の定着や普及促進を推進することができた。
 - ・市内3校において小学4～6年生を対象とした運動教室を実施し、児童の体力向上とスポーツに対する興味や関心を高めることができた。

3. 生涯にわたって健やかに学び続ける人をはぐくみ、地域社会における教育力の向上をはかる

【主な取組】

- ①生涯学習の推進
(中央公民館・図書館を活用した各種サービスの実施、サークル・団体の支援、各種イベントの開催等)
- ②生涯スポーツの推進
(体育施設を活用した大会等の実施、協会・団体の支援、各種イベントの開催等)
- ③学校、家庭、地域の連携強化
(地域学校協働活動、放課後子ども教室、地域未来塾)



① 中央公民館「子ども英語教室」
(中学生ボランティアスタッフも参加)



図書館まつり
(人形劇、クイズラリー)



ラジオ体操講習会



② ムツゴロウペタンク大会



③ 地域学校協働活動(桜山小)



放課後子ども教室(有明小)
有明高校職場体験で高校生も参加



【主な課題と改善方針】

- ①生涯学習の推進
 - 【課題】
多様な学習ニーズに対応した講座の充実、サークルや他事業との連携ネットワークの拡大、施設利用者の満足度の向上、施設の老朽化
 - 【改善方針】
他施設や地域学校協働活動との連携の強化、利用者のニーズをふまえた新規取組の実施、イベントなどの情報発信(ラジオ、HP、SNSなど)の充実
施設の安全性を重視した環境整備
- ②生涯スポーツの推進
 - 【課題】
施設の老朽化、スポーツ指導者の人材不足及び育成、スポーツ活動時における感染症防止対策
 - 【改善方針】
市民自ら進んで参加するスポーツへの意識向上、新たな参加者確保のためのイベント内容の見直し、施設の安全性を重視した整備・充実、新しい生活様式をふまえたスポーツ活動の周知徹底
- ③学校、家庭、地域の連携強化
 - 【課題】
ボランティア人材の不足、学校から地域への貢献活動の充実
 - 【改善方針】
ボランティア人材の育成講座の実施、コミュニティスクールとの連携

4. ふるさとの自然や伝統、文化を学び、誇りや愛着をもち、文化を通じた国際交流の推進をはかる

【数値目標の達成状況】

指標名	R3目標		H27	H28	H29	H30	R1	達成状況
文化的な環境に関する満足度	45.0	実績値 (%)	34.2	35.0	39.3	43.1	41.9	
		達成状況 (%)	-	78	87	96	93	

指標名	R3目標		H27	H28	H29	H30	R1	達成状況
宮崎兄弟の生家施設関連交流件数	17	実績値 (件)	14	8	18	19	12	
		達成状況 (%)	-	47	106	112	71	

【成果】

①シンガポール孫中山南洋記念館・晩晴園との協定書に基づき、交流事業の成果として学術共同報告書を発刊し、荒尾で記念イベントを開催し150人の来場があった。イベントでは第一小学校の6年生による紙芝居「宮崎兄弟と孫文の友情物語」の実演が披露された。

②これまでの協定を発展させ、荒尾市とシンガポール国家文物局間での青少年交流等を目的とした基本合意書の締結に至ることができた。

【主な取組】

- ①学術共同報告書を発刊
- ②荒尾で記念イベントを開催
- ③荒尾市とシンガポール国家文物局間での青少年交流等を目的とした基本合意書の締結



【主な課題と改善方針】

- ①学術交流を主軸とした提携から、多様な交流を視野に入れた国際交流を推進するべく、引き続き、晩晴園と協議を行っていく。
- ② 2021年には宮崎滔天生誕150周年を迎えるため、一般の関心を高め、かつ国際交流の機会を市民に提供することができるような事業を検討していく。

荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価 教育振興計画H31数値目標報告書に関する概評

事務点検評価委員：嶋 政弘

	基本目標	概 評
1	家庭や地域の絆の中で、「生きる力」の基礎をはぐくむ	<p>朝食を毎日食べるという目標達成においては向上しているといえる。その要因となる、主な課題と改善方針、具体的な2つの取り組みについて評価する必要がある。そして、どの項目が目標達成に貢献し、どの項目に不備があるかを調べることにより、次の課題設定が明確になると思われる。</p>
2	自ら学び、自ら考え、自ら行動する力をはぐくむ	<p>学力等において、「全国平均を上回る」という具体的目標を設定しているところは評価できる。目標を明らかに下回っているものと、目標達成には届かなかったが改善の方向にあるものもあることから、〇×ではなく、例えば学力であれば、全国平均を100とした時の荒尾市の値を示すことにより、目標に近づいているのか、逆に遠ざかっているかで意欲付けをしたらどうでしょうか。</p> <p>なお、「英検3級以上の…」においては、受験者数ではなく全生徒数を母集団にしないと、英語への関心が2極化する危険性がある。</p>
3	生涯にわたって健やかに学び続ける人をはぐくみ、地域社会における教育力の向上をはかる	<p>客観的評価が可能な項目(例. 運動習慣)と、そうでない項目(例. 満足度)があるが、客観的評価が可能な項目において改善の方向(右上がり)になっていることは評価できる。市民の関心が高まるほど要求も高度化し、満足度は低くなることも考えられる。まずは、取り組み実績の向上を混ざすべきである。</p>
4	ふるさとの自然や伝統、文化を学び、誇りや愛着をもち、文化を通じた国際交流の推進をはかる	<p>宮崎兄弟を柱とした取り組みは、文化的環境づくりにつながる第一歩ととらえ、その推進のノウハウは、今後の別の取り組みにも生かされるはずである。課題は、そういった関心の度合いを測る指標の設定である。必ずしも事業数だけではなく、多くの市民がふるさとの文化の実態を知り、参加しようと思わせるための具体的方策のアイデアをいかにして収集・活用するかにかかっていると思われる。</p>

荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価 教育振興計画H31数値目標報告書に関する概評

事務点検評価委員：宮辺 博幸

	基本目標	概 評
1	家庭や地域の絆の中で、「生きる力」の基礎をはぐくむ	「早寝早起き朝ご飯」の取り組み、「荒尾っ子の『できるといいね』」の作成配布、「くまもと親の学び」の実践と家庭教育への啓発と支援に努められた結果として、今年度も「朝食を毎日食べている児童生徒の割合」が確実に増加し、ほぼ目標値をクリアしている。今後とも基本的な生活習慣改善のための周知啓発に取り組み、目標値の達成を目指していただきたい。
2	自ら学び、自ら考え、自ら行動する力をはぐくむ	学力、学習状況調査で中学校が目標を下回り、自己肯定調査、体力テストも目標値に届いていない。今後も「あらおベーシック」の定着、ICT機器の効率的な活用等現在取り組んでいる事業等の充実により目標達成に努められたい。英検3級相当学力のある生徒の割合は目標値から下ったものの、「英検チャレンジ」を全学年に広げたことで、英検3級以上の受験者の割合が増え、英語への関心の高さ、学習意欲の向上が見られる。今後も目標値に近づけるよう現在の取り組みを続けていただきたい。コミュニティ・スクールの導入においても、まだ目標値に程遠いことから、地域とともにある学校作り推進のため、学校、地域との連携を密にし、積極的に導入に取り組まれたい。
3	生涯にわたって健やかに学び続ける人をはぐくみ、地域社会における教育力の向上をはかる	地域と学校が連携・協働した活動の増加に伴い、学校支援ボランティアの数は目標値を大きく上回っている。今後も人材の確保、育成のための取り組みを続けられたい。図書館来館者数は、新型コロナウイルスの影響もあり、一時的には落ち込んでいるが、読書活動推進のため、他施設等と連携し取り組みの充実を図っていただきたい。生涯学習、生涯スポーツへの取り組みが、市民の教養・スポーツの場に関する満足度に十分繋がっておらず微減している。生涯学習、生涯スポーツへの取り組みを充実させ、拠点施設の老朽化に適切に対応しながら市民の満足度アップに繋げていただきたい。 運動習慣のある者の割合はともに目標値を大幅に上回っている。今後も、地域スポーツ、生涯スポーツの推進により運動の機会の創出、提供に努められたい。
4	ふるさとの自然や伝統、文化を学び、誇りや愛着をもち、文化を通じた国際交流の推進をはかる	本市は、文化的な環境に恵まれており、あらゆる方面からの取り組みにより、市民への周知、啓発を続けられ目標値の達成に繋げていただきたい。宮崎兄弟の生家施設関連交流件数は減ったものの、学術協働報告書の発刊、本市での記念イベントの開催という対外的な事業の取り組みによる国際交流の推進に期待したい。